

## 東北大学 新任教員プログラム（オリエンテーション）参加報告 （2015.7.18）

---

小林雄志（熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻 特任助教）

2015年7月18日（土）に、東北大学川内北キャンパス・教育・学生支援センター東棟4階大会議室において、2015年度 東北大学 大学教員準備プログラム（PFFP）および新任教員プログラム（NFP）のオリエンテーションが開催された。PFFP・NFPともに、ティーチング実践や先達コンサルテーションを含むフルコースとそれらを含まないショートコースが存在するが、私はNFPのショートコースへ参加した。

まず、午前10時より大学教育支援センター 今野 文子 講師より概要の説明があり、参加者の自己紹介および先達教員の方々の自己紹介が行われたが、言語学や法学、看護学や天文学など文系・理系から幅広く参加していることが特徴的であった。休憩の後に、大学教育支援センター長 羽田 貴史 教授より「社会の中の大学教員」と題した講義が行われ、大学を取り巻く状況が変わりつつあるなかでこれからの大学教員に必要な能力や個人戦略について、データを交えた説明が行われた。昼食はランチ懇親会として先達教員とともに昼食をとり交流を深めた。午後には大学教育支援センター副センター長 杉本 和弘 教授よりワークショップ「比較の目を育てる」が実施された。参加者は4～5人のグループに分かれ、杉本教授から概要説明があったのちにグループワークを行ったが、グループ内のメンバーはそれぞれ異なるバックグラウンドを持っており、与えられたテーマについてさまざまな視点で比較を行うことの重要性がこのワークを通して感じられた。最後に、今野講師より「配布資料の活用法と課題の確認」として配布資料の説明があった。今回のオリエンテーションでは非常に多くの資料をいただくことができ、なかでも東北大学に関する資料も多くいただけたが、説明を聞くなかで、自分の所属する大学や学部の歴史や文化について知ること・説明できることは、自分自身や受講プログラムの背景・内容を理解してもらううえで非常に大切なことであると感じられた。また、本プログラムは大学院生・ポスドクを対象とするPFFPと新任教員を対象とするNFPが合同で開催されているところが特徴的であるが、受講者の授業経験には少し幅があるにもかかわらず非常にスムーズな進行でワークなどが行われていたことから、こうした受講者にも取り組みやすいワークの内容や適切なレベル設定等について我々も参考にしていければと思う。